



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 ニチュ三菱フォークリフト株式会社

コード番号 7105 URL <http://www.nmf.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) ニノ宮 秀明

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 CFO (氏名) 中村 真明 TEL 075-951-7171

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|-------|-------|-------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 184,942 | △8.8 | 7,660 | △10.0 | 7,395 | △9.6 | 3,991 | △12.2 |
| 27年3月期第3四半期 | 202,700 | 34.6 | 8,515 | 45.1 | 8,181 | 35.9 | 4,546 | 105.6 |

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 3,917百万円 (△59.1%) 27年3月期第3四半期 9,119百万円 (47.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 37.51 | 37.42 |
| 27年3月期第3四半期 | 42.73 | 42.64 |

※前連結会計年度は決算期変更の経過期間であったことから、前第3四半期連結累計期間につきましては、当社および従前の決算日が3月末日の連結子会社は9ヵ月間、決算日が12月末日の連結子会社は12ヵ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 163,680 | 60,300 | 35.9 | 551.56 |
| 27年3月期 | 162,878 | 58,139 | 34.5 | 527.41 |

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 58,690百万円 27年3月期 56,112百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | — | — | 10.00 | 10.00 |
| 28年3月期 | — | — | — | | |
| 28年3月期(予想) | | | | 10.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|-------|------|-------|-------|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 240,000 | △7.8 | 8,500 | △6.2 | 8,000 | △10.7 | 4,500 | 0.4 | 42.30 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※前連結会計年度は決算期変更の経過期間であったことから、前連結会計年度につきましては、当社および従前の決算日が3月末日の連結子会社は12ヵ月間、決算日が12月末日の連結子会社は15ヵ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 28年3月期3Q | 106,466,013株 | 27年3月期 | 106,466,013株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期3Q | 58,867株 | 27年3月期 | 73,827株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 28年3月期3Q | 106,398,171株 | 27年3月期3Q | 106,392,259株 |

※期末発行済株式数及び期中平均株式数の算定には、A種種類株式を普通株式と同等の株式として含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |
| (5) セグメント情報等 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国をはじめとする先進国を中心に緩やかな回復基調を継続しておりますものの、中国経済の減速や原油価格等の資源安が、アジア新興国・資源国への影響にとどまらず、世界経済の先行き不透明感を強めております。我が国経済は、円安と原油安の定着により、設備投資、雇用に改善がみられる等、景気の回復傾向が継続しておりますが、力強さに欠けるものとなっております。

このような状況下、国内市場においては、バッテリーフォークリフト需要が約9%増加と市場拡大しております。当社は主力製品であるリーチ型バッテリーフォークリフト及びラックフォークのフルモデルチェンジ車投入に続き、第四次排出ガス規制対応エンジンフォークリフトの販売及びサービスに力を入れております。海外においては、中国はじめ新興国の販売が低調ではありますが、米国の比較的好調な経済状況を踏まえ販売を伸ばしております。また利益面では、円安が寄与したことに加え、国内販社や欧州子会社の収益改善に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、1,849億4千2百万円（前年同期比8.8%減少）となりました。なお、前連結会計年度については、海外連結子会社の決算日を連結決算日と同じ3月末日に変更したことに伴い、Mitsubishi Caterpillar Forklift America Inc. 他20社の前第3四半期連結会計期間は12ヵ月となっております。この決算期変更に伴う影響を除くと、前年同期売上高は1,682億8千9百万円となり、前年同期比166億5千4百万円増加（前年同期比9.9%増加）しております。

営業利益は76億6千万円（前年同期比10.0%減少）、経常利益は73億9千5百万円（前年同期比9.6%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は39億9千1百万円（前年同期比12.2%減少）となりました。なお、前述の通り、決算期変更影響を除くと、前年同期営業利益は62億7千8百万円となり前年同期比13億8千3百万円増加（前年同期比22.0%増加）し、前年同期経常利益は62億2千3百万円となり前年同期比11億7千2百万円増加（前年同期比18.8%増加）しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔国内事業〕

国内事業は、売上高は602億5千4百万円（前年同期比6.9%増加）、セグメント利益は6億5千7百万円（前年同期比77.2%減少）となりました。なお、前年同期の売上高・セグメント利益から決算期変更影響額を除くと、売上高は前年同期比47億2千2百万円増加（前年同期比8.5%増加）、セグメント利益は前年同期比13億9千9百万円減少（前年同期比68.0%減少）しました。売上高増加は、フォークリフトの国内販売の増加が寄与していますが、輸出に関しては減少と厳しい状況になっております。セグメント利益は、予定されていた海外生産移管に伴う中型エンジンフォークリフトの輸出売上減少による粗利減、ユニキャリアホールディングス社株式取得費用等一般管理費の増加などにより、減少しました。

〔海外事業〕

海外事業は、売上高は1,246億8千7百万円（前年同期比14.8%減少）、セグメント利益は70億3百万円（前年同期比24.3%増加）となりました。なお、前年同期の売上高・セグメント利益から決算期変更影響額を除くと、米国の好調な売上と円安換算などにより、売上高は前年同期比119億3千3百万円増加（前年同期比10.6%増加）し、セグメント利益は円安効果、米国での売上増加及び再生を進めている欧州子会社の収益改善などにより、前年同期比27億8千2百万円増加（前年同期比65.9%増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,636億8千万円となり、前連結会計年度末より8億2百万円増加しました。流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加等と原材料及び貯蔵品の減少等の結果、11億2千3百万円増加し、固定資産は、その他の無形固定資産の増加等があるものの、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、のれんの減少等により3億2千1百万円減少しました。負債合計は1,033億7千9百万円となり、前連結会計年度末より13億5千8百万円減少しました。主な要因は、賞与引当金の減少等によるものであります。

また、純資産につきましては、非支配株主持分および新株予約権を除くと586億9千万円となり、前連結会計年度末より25億7千7百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成27年10月30日公表の「平成28年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 13,153 | 16,826 |
| 受取手形及び売掛金 | 40,231 | 40,974 |
| 商品及び製品 | 24,169 | 23,838 |
| 仕掛品 | 5,562 | 5,900 |
| 原材料及び貯蔵品 | 15,299 | 12,132 |
| その他 | 8,646 | 8,625 |
| 貸倒引当金 | △316 | △427 |
| 流動資産合計 | 106,747 | 107,871 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 13,194 | 12,950 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 17,390 | 16,948 |
| 土地 | 6,427 | 6,420 |
| その他(純額) | 4,305 | 4,249 |
| 有形固定資産合計 | 41,318 | 40,569 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,672 | 1,230 |
| その他 | 3,066 | 4,077 |
| 無形固定資産合計 | 4,739 | 5,307 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,399 | 6,771 |
| 退職給付に係る資産 | 4 | 2 |
| その他 | 3,718 | 3,208 |
| 貸倒引当金 | △49 | △49 |
| 投資その他の資産合計 | 10,071 | 9,932 |
| 固定資産合計 | 56,130 | 55,809 |
| 資産合計 | 162,878 | 163,680 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 36,135 | 36,332 |
| 短期借入金 | 33,632 | 35,641 |
| 未払法人税等 | 580 | 458 |
| 賞与引当金 | 2,028 | 1,004 |
| 役員賞与引当金 | 96 | 46 |
| 製品保証引当金 | 2,512 | 2,706 |
| その他 | 12,461 | 12,918 |
| 流動負債合計 | 87,448 | 89,108 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 6,387 | 4,145 |
| 製品保証引当金 | 447 | 377 |
| 役員退職慰労引当金 | 9 | 12 |
| 退職給付に係る負債 | 8,592 | 8,288 |
| その他 | 1,853 | 1,447 |
| 固定負債合計 | 17,290 | 14,270 |
| 負債合計 | 104,738 | 103,379 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,890 | 4,890 |
| 資本剰余金 | 35,842 | 35,839 |
| 利益剰余金 | 7,122 | 9,988 |
| 自己株式 | △32 | △26 |
| 株主資本合計 | 47,822 | 50,691 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,206 | 2,448 |
| 為替換算調整勘定 | 5,888 | 5,407 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 193 | 141 |
| その他の包括利益累計額合計 | 8,289 | 7,998 |
| 新株予約権 | 84 | 105 |
| 非支配株主持分 | 1,943 | 1,505 |
| 純資産合計 | 58,139 | 60,300 |
| 負債純資産合計 | 162,878 | 163,680 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 202,700 | 184,942 |
| 売上原価 | 155,650 | 143,858 |
| 売上総利益 | 47,049 | 41,083 |
| 販売費及び一般管理費 | 38,533 | 33,423 |
| 営業利益 | 8,515 | 7,660 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 105 | 107 |
| 受取配当金 | 93 | 102 |
| 為替差益 | 123 | — |
| 持分法による投資利益 | 31 | 33 |
| その他 | 234 | 271 |
| 営業外収益合計 | 588 | 514 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 696 | 375 |
| 合弁契約解消損 | 199 | — |
| 為替差損 | — | 364 |
| その他 | 26 | 39 |
| 営業外費用合計 | 922 | 780 |
| 経常利益 | 8,181 | 7,395 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 22 | 30 |
| 投資有価証券売却益 | 2 | — |
| 特別利益合計 | 24 | 30 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 102 | 82 |
| 特別損失合計 | 102 | 82 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 8,103 | 7,343 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,477 | 2,943 |
| 法人税等調整額 | 766 | 191 |
| 法人税等合計 | 3,243 | 3,135 |
| 四半期純利益 | 4,859 | 4,207 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 313 | 216 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,546 | 3,991 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 4,859 | 4,207 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 550 | 242 |
| 為替換算調整勘定 | 3,762 | △475 |
| 退職給付に係る調整額 | △59 | △51 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 6 | △5 |
| その他の包括利益合計 | 4,260 | △290 |
| 四半期包括利益 | 9,119 | 3,917 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 8,556 | 3,695 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 563 | 221 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|------------------------|---------|---------|---------|-------------|---------------------------|
| | 国内事業 | 海外事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 56,355 | 146,344 | 202,700 | — | 202,700 |
| (2) セグメント間の内部売上高または振替高 | 21,222 | 585 | 21,808 | (21,808) | — |
| 計 | 77,578 | 146,930 | 224,508 | (21,808) | 202,700 |
| セグメント利益 | 2,879 | 5,636 | 8,515 | — | 8,515 |

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(連結子会社の事業年度に関する変更)

第1四半期連結会計期間から、Mitsubishi Caterpillar Forklift America Inc. 他20社は、決算日を12月末日から3月末日に変更し連結決算日と同一としております。これに伴い、当第3四半期連結累計期間におけるMitsubishi Caterpillar Forklift America Inc. 他20社の会計期間は12ヵ月となっております。

この決算日変更に伴い、「海外事業」セグメントにおける売上高が335億8千9百万円、セグメント利益が14億1千5百万円それぞれ増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|------------------------|---------|---------|---------|-------------|---------------------------|
| | 国内事業 | 海外事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 60,254 | 124,687 | 184,942 | — | 184,942 |
| (2) セグメント間の内部売上高または振替高 | 18,165 | 264 | 18,429 | (18,429) | — |
| 計 | 78,420 | 124,952 | 203,372 | (18,429) | 184,942 |
| セグメント利益 | 657 | 7,003 | 7,660 | — | 7,660 |

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。